

保健センター検査課だより (臨時号)

「BNP」と「NT-proBNP」

この度は、BNPとNT-proBNPについて、ご案内をさせていただきます。
心不全の診断や重症度判定、予後診断（治療指標）などに有用とされておりますので、状況や目的に応じてご利用いただけます。
下記の比較表が参考になれば幸いです。

BNP、NT-proBNP比較表

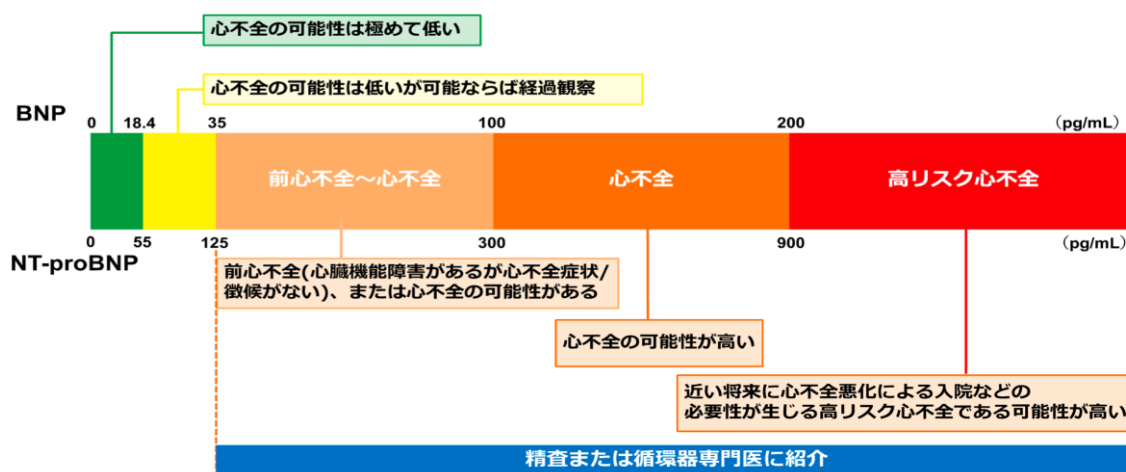
	BNP	NT-proBNP
実施料	130点	136点
判断料	生化Ⅱ144点	生化Ⅱ144点
検体	EDTA血漿	血清
基準値	18.4以下 pg/mL	125以下 pg/mL ※③
検査方法	CLEIA	ECLIA
生物学的半減期 ※①	約20分	約120分
採血後の安定性	低い	高い
腎機能低下	影響小	影響大
溶血の影響	影響有	影響無
ネプリライシン阻害薬 ※②	影響有	影響無

※① 生物学的半減期とは、体内に入った物質が代謝や排泄によって半分に減るまでに要する時間をいいます。

※② ネプリライシン阻害薬（薬剤：エンレスト）ではBNPの血中濃度を高める可能性があります。

※③ 125pg/mLは心不全除外カットオフ値です

BNP/NT-proBNP を用いた心不全診断や循環器専門医への紹介基準のカットオフ値



日本心不全学会. 血中BNPやNT-proBNPを用いた心不全診療に関するステートメント 2023年改訂版より

本件に関するお問い合わせは検査課までお願いいたします。

TEL : 079-429-2200